

2. 軟式野球

- 1 期 日 令和6年7月20日(土)・21日(日)・23日(火)・24日(水)
予備日 23日(火)・24日(水)・25日(木)・26日(金)
- 2 会 場 東田球場(4日間) 20日(土) 21日(日) 23日(火) 24日(水)
田原球場(2日間) 20日(土) 21日(日)
予備日 東田球場(25・26日) 田原球場(23・24・25・26日)
- 3 参加人員 1校1チーム 20名(監督1名)
① 引率者・監督については当該校の教員に限る。
② コーチについては、校長が承認した者に限る。
- 4 競技上の規定および方法
① 審判規定は2024年度公認野球規則・競技者必携による。
② 試合方法はトーナメント方式とする。
③ 7回を終了して勝敗が決定しない時は継続打順による特別ルールとする。
【特別ルール】 前回の最終打者を一塁走者とし、二塁の走者以降は順次前の打者として無死満塁の状態にして次打者から攻撃を1イニング行い得点の多いチームを勝ちとする。なお、勝敗が決定しない場合は、同様にして勝敗が決定するまで繰り返し行う。(試合終了時の得点表示は特別ルールの得点を含めた合計得点とする。)
④ 3回10点差、または5回7点差を生じた場合はコールドゲームとする。なお、暗黒・降雨・その他の事情で試合続行が不可能と判断された場合は、特別継続試合とする。
⑤ 全試合において、時間制限を設ける。初回の「プレイ」から90分(本部で計測)を経過して新しいイニングに入らない。ただし、グラウンド整備や給水タイム、突発事故や天候に関わる中断の時間は除く。
⑥ ベンチには、登録選手20名および次の人員以外は入ることはできない。監督(教員)1名。当該学校教職員2名(外部コーチは1名まで)。スコアラー(生徒に限る)+ボールボーイ(スパイク・ユニホーム着用)で5名の最大28名までとする。選手の背番号については、ポジション順を原則とする。
⑦ 監督およびコーチは選手と同一のユニフォーム・スパイクを着用する。監督は、背番号「30」をつける。コーチは「29」、「28」をつける。
⑧ 捕手(スベア捕手も含む)は、プロテクター、レガーズ、ヘルメット、スロートガード、ファウルカップを着用する。スロートガード一体型を認める。
⑨ 打者、次打者、走者、ベースコーチは、ヘルメットを着用する。なお、ヘルメットは両耳タイプのものとする。
⑩ リストバンド、サポーター、バットリング、マスコットバットを球場内に持ち込まない。バッティング用手袋の装着を認める。ただし、白または黒色の単色のものに限る。
⑪ ベンチでのメガホンの使用は監督に限る。サングラスの使用は原則禁止とするが、健康上の理由があれば本部と対戦相手の確認を得た上で可とする。
⑫ 突発事故が起きた場合。
【臨時代走】一時走者を代えたい場合は、主審に申し出て、審判団が必要と認めた時は許可する。ただし、臨時代走者は出場選手の中で、最も打順の遠い選手とする。(投手・捕手を除くことができる)
⑬ 投球練習は、初回、交代時は7球以内、イニングの最初は3球以内とする。
⑭ 無用のタイムなどは慎み、試合の進行に協力する。
ア 打者は、みだりにバッターボックスをはずさない。
イ 投手が捕手のサインを見るときは、必ずプレートを踏んでみる。
ウ タイムは1分を限度とする。ただし、審判員が必要と認めたときは、この限りではない。
⑮ ベンチは、抽選番号の若番が1塁側とする。
⑯ 会場内での試合前の練習およびシートノックは、選手20名とする。ただし

ボールボーイの手伝いは認める。(ノッカーはユニフォーム着用)

- ⑰ 脛を保護することができるストッキングを着用する。
- ⑱ 使用できるバットは全日本軟式野球連盟公認のものとする。
- ⑲ メンバー表は4部提出する。第1試合は試合開始30分前に、以後は前の試合4回終了時に、それぞれの監督と主将が本部へ提出する。
- ⑳ シートノックは後攻から始めて5分以内とする。4回終了以降次試合の先発バッテリーのブルペン練習を認める。
- ㉑ 自軍ベンチ側のファールボールは速やかに拾いに行き、係員に渡す。
- ㉒ 審判の宣告には異議を申し出ることはいない。ただし、規則上の疑義については、原則として監督及び当該プレイヤーのみが質問をすることができる。
- ㉓ ゲーム中、監督は次の場面以外ベンチから出てはならない。
 - ア 選手交代の申し出をする場合。 イ 突発の事故が起きた場合。
 - ウ 審判員の宣告に対して疑義を申し出る場合。
 - エ 選手への指示を簡潔に行う場合。(必要以上に行わない)
- ㉔ 規則3.03(原注:投手は同一イニングで投手以外の守備位置に2度つくことは許されない)は、適用しない。
- ~~㉕ 規則8.06(監督が投手のもとへ行く制限)は、適用する。~~
- ㉖ 試合終了の挨拶は、ホームプレートでの挨拶で終了とし、速やかにベンチをあける。

5 参加校の選出方法

- ② 支所大会に出場したチームのうちから選出する。
- ③ 選出校は、豊橋6・豊川3・蒲郡・田原各2チーム、新城・北設1チーム、前年度優勝校の支所1チーム

6 表彰

- ① 優勝 優勝旗、賞状
- ② 準優勝 賞状
- ③ 3位 賞状

7 申し込み方法

各支部大会実施要項によって2部作成し、組み合わせ会場へ持参する。
※参加申込書の「位置・種別」欄に、背番号(1~20とし、ポジション順を原則とする)を記入する。

8 その他

- ① 天候不良の場合の問い合わせ。
愛知県中小学校体育連盟東三河支部HPを確認する。
- ② 応援団は次の事項を守ること。
 - ア 紙吹雪、テープ、個人名の入ったのぼり等の使用を禁止する。
 - イ 相手チームをやじったり、不利をまねいたりするような応援をしない。
 - ウ メガホンの使用を認める。
 - エ 応援席周辺をちらかさない。
 - オ その他、中学生の試合らしからぬ行為をしない。
 - カ 鳴り物については、攻撃時のみ使用可とする。
- ③ 組み合わせ当日に会場への交通手段、駐車方法、練習会場等を連絡するので、関係者への徹底を、各参加校で行う。
- ④ 登録済の選手の変更は認めないが、大会開始当日のみ、突発的な事情で変更する場合は、本部の了解があれば認められる。
- ⑤ 優勝、準優勝、3位チーム(代表決定戦を行う)は県大会出場資格を得る。
- ⑥ 審判員は、上着は白または青色の半袖か長袖のワイシャツ、ズボンは紺系統のもの、帽子は審判用のもの、靴は黒のスパイクを着用する。なお、試合開始1時間前には、会場に集合すること。
- ⑦ 本部席へは大会役員、競技役員以外の入室を禁止する。